



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月12日

上場会社名 株式会社Globee 上場取引所 東
コード番号 5575 URL <https://www.globee.io/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 幾嶋 研三郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 指田 恭平 TEL 03-6230-9016
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年5月期第3四半期の業績（2023年6月1日～2024年2月29日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	925	36.2	238	42.7	236	42.2	156	42.2
2023年5月期第3四半期	679	—	166	—	166	—	110	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	31.37	30.53
2023年5月期第3四半期	22.55	—

（注）1. 当社は、2022年5月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 当社は、2023年6月14日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2024年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年5月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	1,421	546	38.5
2023年5月期	1,036	272	26.3

（参考）自己資本 2024年5月期第3四半期 546百万円 2023年5月期 272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,251	32.0	316	28.6	316	30.9	209	21.5	41.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年5月期3Q	4,997,633株	2023年5月期	4,886,000株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	—株	2023年5月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年5月期3Q	4,991,728株	2023年5月期3Q	4,886,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手について)

当社は、2024年4月12日(金)に機関投資家及びアナリスト向けに四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間につきましては、「abceed」のサービス改善、コンテンツの拡充と販売拡大に注力し、一般ユーザー、法人等の有料会員数の獲得を図ってまいりました。当第3四半期末時点において、有料会員数は9.2万人となっており、前四半期末時点からは0.8万人の増加となりました。特に一般個人向けでは堅調なダウンロード数（新規ユーザー数）に加え、有料会員転換の状況も好調に推移しており、さらに例年通り1月に一般個人向けのProプラン半額キャンペーンを実施した効果もあって、有料会員数は大きく伸長しております。

コンテンツに関しては、新規コンテンツの追加を進めており、映画・ドラマの対応コンテンツは当第3四半期末時点で100作品を超えております。また、日本英語検定協会より英検®過去問題集のライセンスを獲得し、2024年4月より「abceed」オリジナル解説が付いた英検®過去問題集、単語帳の配信を開始しております。今後もさらに多種多様なコンテンツに対応し、ターゲット層の拡大を図るべく、コンテンツホルダーとの協議を進めるなどの取り組みを実施してまいります。

ユーザビリティの向上に資する機能改善や品質の向上にも取り組み、ライブ講義のアーカイブ動画機能をProプランに導入しております。また、当四半期まで検討を進めていたProプラン料金改定につきましても、2024年3月より約2割の値上げを実施しており、翌四半期以降の平均単価の上昇に寄与するものと考えております。

法人向けについては、営業体制及び出版社等との提携関係の強化を継続し、導入法人数は当第3四半期末時点で累計363件まで伸長しております。中学校・高校では現場での活用が進み、学校現場からの要望、フィードバック等を踏まえてサービス改善を図りつつ、提携先の教科書出版社と協働して、販売の拡大とフォローアップを図りました。

このような状況のなか、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高925,358千円（前年同四半期比36.2%増）、営業利益238,187千円（前年同四半期比42.7%増）、経常利益236,428千円（前年同四半期比42.2%増）、四半期純利益156,599千円（前年同四半期比42.2%増）となりました。

当社は教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

	ユーザー数	有料会員数 (期末時点) (注1)	対応タイトル数 (注2)
2020年5月期末	116.5万人	1.2万人	243
2021年5月期1Q末	126.9万人	1.5万人	266
2021年5月期2Q末	141.7万人	2.0万人	303
2021年5月期3Q末	158.8万人	2.3万人	336
2021年5月期末	179.7万人	3.2万人	380
2022年5月期1Q末	195.8万人	3.3万人	396
2022年5月期2Q末	213.5万人	3.8万人	421
2022年5月期3Q末	233.1万人	4.5万人	476
2022年5月期末	257.6万人	5.7万人	550
2023年5月期1Q末	276.0万人	5.6万人	616
2023年5月期2Q末	295.3万人	6.1万人	636
2023年5月期3Q末	316.4万人	6.5万人	676
2023年5月期末	343.2万人	7.6万人	747
2024年5月期1Q末	364.4万人	8.1万人	808
2024年5月期2Q末	386.6万人	8.4万人	898
2024年5月期3Q末	412.0万人	9.2万人	959

	導入法人数	
	期中利用数 (注3)	累計 導入数
2020年5月期末	4件	4件
2021年5月期末	74件	75件
2022年5月期末	177件	203件
2023年5月期末	224件	317件
2024年5月期1Q末	172件	335件
2024年5月期2Q末	198件	352件
2024年5月期3Q末	212件	363件

(注1) 有料会員数に関する季節性要因を補足いたします。

1Qは、英語学習者の学習意欲等の変動による年間を通じた閑散期であることを要因として増加幅は微増もしくは微減となる傾向にありますが、今期は例年10月に実施している一般個人向けProプラン割引キャンペーンを1Qに実施したことにより、相応に会員数は純増しております。

2Qは、例年10月に実施している同キャンペーンを今期は実施しなかったものの、今期2Qも相応に純増を確保しております。

3Qについては、例年通り同キャンペーンを実施しており、会員数は純増しております。

4Qは例年4月に同キャンペーンを実施するため大幅に会員数を増加させる傾向にあり、加えて法人(学校・企業)における新年度の新規会員数が追加されます。

(注2) 対応タイトル数については従来、映画・ドラマ(2023年3月から対応を開始)のコンテンツ数を含まず、書籍教材等の対応タイトル数の数値を開示しておりましたが、今期より映画・ドラマのコンテンツ数も含んだ数値として開示することといたしました。それに伴い、2023年5月期末の数値を映画・ドラマのコンテンツ数を含んだ対応タイトル数に修正しております。

(注3) 期中に有料で利用された法人数を記載しております。2024年5月期については、期首から各四半期末時点までの累計期間で算出しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ384,708千円増加し、1,421,011千円となりました。これは主に、売掛金が67,401千円減少した一方、現金及び預金が341,915千円増加、ソフトウェアが80,394千円増加、前払費用が25,058千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債につきましては、前事業年度末と比べ110,788千円増加し、874,438千円となりました。これは主に、未払法人税等が31,735千円減少した一方、長期借入金が90,302千円増加、短期借入金が30,000千円増加、契約負債が29,579千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産につきましては、前事業年度末と比べ273,919千円増加し、546,572千円となりました。これは主に、資本金が58,659千円増加、資本準備金が58,659千円増加、四半期純利益156,599千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月14日に発表しました通期の業績予想につきましては、現時点にて変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	549,013	890,928
売掛金	202,415	135,013
前払費用	131,008	156,066
その他	107	478
流動資産合計	882,545	1,182,488
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	19,133	19,133
工具、器具及び備品	9,692	10,357
減価償却累計額	△11,081	△13,816
有形固定資産合計	17,744	15,674
無形固定資産		
ソフトウェア	108,435	188,830
ソフトウェア仮勘定	7,947	14,387
無形固定資産合計	116,382	203,217
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,200	1,200
繰延税金資産	18,431	18,431
投資その他の資産合計	19,631	19,631
固定資産合計	153,757	238,523
資産合計	1,036,302	1,421,011

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,259	55,191
未払金	22,317	14,164
未払費用	14,188	26,869
短期借入金	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	30,030	49,980
契約負債	494,127	523,707
賞与引当金	25,547	12,879
未払消費税等	21,478	23,754
未払法人税等	71,714	39,978
その他	1,436	3,060
流動負債合計	759,099	779,586
固定負債		
資産除去債務	4,550	4,550
長期借入金	—	90,302
固定負債合計	4,550	94,852
負債合計	763,649	874,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,476	91,135
資本剰余金		
資本準備金	30,476	89,135
資本剰余金合計	30,476	89,135
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	209,701	366,301
利益剰余金合計	209,701	366,301
株主資本合計	272,653	546,572
純資産合計	272,653	546,572
負債純資産合計	1,036,302	1,421,011

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自2023年6月1日 至2024年2月29日)
売上高	679,174	925,358
売上原価	348,860	491,645
売上総利益	330,314	433,712
販売費及び一般管理費	163,410	195,525
営業利益	166,904	238,187
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	0	—
雑収入	151	38
営業外収益合計	156	44
営業外費用		
支払利息	588	425
支払手数料	205	186
雑損失	—	1,191
営業外費用合計	793	1,803
経常利益	166,266	236,428
税引前四半期純利益	166,266	236,428
法人税等	56,102	79,828
四半期純利益	110,164	156,599

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月14日付で、東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2023年6月13日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式）増資による新株式110,800株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ58,613千円増加しております。

また、新株予約権（ストック・オプション）の行使に伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ46千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が91,135千円、資本剰余金が89,135千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。